

ボツワナ共和国月報(2023年2月)

主な出来事

【COVID-19】

●感染者数

【内政】

●2022年腐敗認知指数でボツワナは60点獲得し、180か国中35位

●セラメ財務大臣による予算演説-2023/2024年度予算案

●選挙区割り委員会による大統領に対する報告書提出

●学校教育課程における、セツワナ語以外の多言語の利用の開始

【外政】

●アラン・ベルセ・スイス大統領のボツワナ公式訪問(6~8日)

●ドバイ万博(2020年)出展にかかった経費等

●ボツワナ・ナミビア国境入管における国民IDカード利用

【経済】

●アフリカ大陸自由貿易協定批准

●1月のインフレ率-前月比で3.1%の低下

●2023年第1回金融政策会合-政策金利2.65%を継続

●燃料小売価格の改訂-昨年6月以来の値上げ

●2022年第4四半期雇用統計

●2022年12月国際商品貿易統計-2018年以來の黒字化へ

【国連関係】

●国連合同エイズ計画(UNAIDS)による国内における感染・治療・死亡状況の報告

【当館関連イベント】

●円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」の契約に調印

【COVID-19】

○感染者数

(1)保健省が発表した過去1カ月(1月28日~2月25日)の感染数は、前月(12月31日~1月28日)と比して大きく減少した。

(2)昨年4月は一日平均感染者数は落ち着いていたものの、5月に入り、感染者数が毎週倍増し、6月9日に保健省は、ボツワナは感染の第5波に入った旨発表した。6月末頃から再び減少が始まり、7月28日には第5波が収束した旨発表された。8月以降、いったん状況は落ち着いていたが、11月以降、感染者数は2桁台に増加し、年を明けた本年1月まで感染者数は増加してきていた。他方、死者数は第5波収束以降、一桁代で推移を続けている。

【内政】

○2022年腐敗認知指数でボツワナは60点獲得し、180か国中35位

毎年国際NGOのトランスペアレンシー・インターナショナルが発表している腐敗認知指数で、ボツワナは昨2021年に過去最低の55点(45位/180か国)から60点(35位)に浮上した。同列35位の国は、スペイン、セントビンセント及びグレナディーン諸島及びカーボベルデである。

○セラメ財務大臣による予算演説-2023/2024年度予算案

6日、セラメ財務大臣は、国民議会における2023/2024年度予算演説で、同年度予算案は、暫定国家開発計画(TNDP)を踏まえ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)、ビジネス環境改革、インフラ開発、バリューチェーン構築、国民生活及び気候変動の6分野を重点とし、人的資源の開発を横断的課題とした。また、同大臣は、経済成長推進のため、財政規律を確保した上で、開発予算の割当増大を通じインフラ投資を推進していくことを表明した。予算額は、歳入額797.9億プラ、歳出額873.8億プラを見込む。

○選挙区割り委員会による大統領に対する報告書提出

10日、選挙区割り委員会は、マシシ大統領に対し、選挙区割り等を提言する報告書を提出した。同報告書を受理した大統領は、同委員会はどこからも圧力や影響を受けることなく、自由に国民と協議した結果がまとめられた報告書であり、民主主義の反映である、と評価した。今後、法律に則って選挙区割りの手続が進められていく。

○学校教育課程における、セツワナ語以外の多言語の利用の開始

レツォラテペ教育・技術開発大臣は、国会での答弁にて母語による学校教育が開始された旨述べた。同方針は2022年11月の大統領所信表明演説で言及され、セツワナ語以外の言語(手話を含む13言語)を話す地域の基礎教育拡充のために導入が決定されたもの。2023年1月から一部の学校で導入済み。国内各地の170校が対象校として選定され、既に119校が開始済みで、残る51校は教員研修が完了次第、順次導入される予定。

【外政】

○アラン・ベルセ・スイス大統領のボツワナ公式訪問(6~8日)

6日、スイスのアラン・ベルセ大統領は、マシシ大統領の招待を受け、スイスの大統領として初めて、ボツワナを公式に訪問した。今回の訪問の背景には、スイスのサブサハラ・アフリカ戦略(2021~2024年)に沿った両国関係の強化がある。ボツワナ滞在中、ベルセ大統領は、クワペ外務大臣との間で保健分野における協力に関する覚書に署名した。また、アフリカ連合を始めとする地域機構との協力を念頭に、南部アフリカ地域におけるスイスの関与のあり方等を協議するためにマホシ南部アフリカ開発共同体(SADC)事務

局長とも面会した。また、オミクロン株の新しいサブ系統が確認されたボツワナ・ハーバード・エイズ研究所(Botswana Harvard AIDS Institute Partnership: BHP)等を視察した。

○ドバイ万博(2020年)出展にかかった経費等

ムシ・カフェラ貿易・産業大臣は、国会質疑にて、ボツワナ政府によるドバイ万博への出展にかかる総経費約3,300万プラのうち、主にアラブ首長国連邦より150万ドル(約1,900万プラ)の支援があった旨認めた。それらは、パビリオンの設営、展示物の輸送、展示会期間中の宿泊費等に充てられた。万博出展以後、ボツワナ投資貿易センター(BITC)は、ダイヤモンドの研磨業界の8つの会社を国内へ誘致し、これらの会社からの投資額は1億8千万プラ以上、新たに368の職業ポストが創設された。

○ボツワナ・ナミビア国境入管における国民IDカード利用

24日、マシシ大統領とガインコブ・ナミビア大統領は、マムノ/トランス・カラハリ国境事務所において、両国間の旅行における国民IDカードの使用を許可する覚書に署名した。

労働・内務省による報道発表によると、2019年のボツワナ及びナミビアの首脳会合にて取り上げられた、国民の国境を越える移動に際し、旅券の代わりに国民IDカードを利用するとの合意に関して、両国間での作業が終わり、24日の署名日を迎えた。マムノ/トランスカラハリ国境は両国民に最も利用されている国境地帯で、旅券の代わりにIDカードを利用することで、南部アフリカ開発共同体(SADC)が目標とする域内の人や物資の可能な限り自由な移動を実現する。本年後半にはワンストップ・ボーダー・ポスト(OSBP)の設置が予定されており、IDカードの利用がより加速されることが期待される。

【経済】

○アフリカ大陸自由貿易協定批准

19日、エチオピアで開催された第36回AU首脳会議に出席中のマシシ大統領は、アフリカ大陸自由貿易協定(AfCFTA)批准に関する協定に署名した。

○1月のインフレ率-前月比で3.1%の低下

1月の年間インフレ率は、対前月(12.4%)比較で3.1%低下の9.3%となった。下落の最も大きな要因は、運輸部門のインフレ率低下であり、昨年12月から今年1月に実施された燃料小売価格の減額改定によるものである。分野別寄与度は、運輸(3.6%)、食品・非アルコール飲料(2.3%)、住宅・水・電気・ガス・その他燃料(0.8%)、雑貨・サービス(0.8%)であった。

○2023年第1回金融政策会合-政策金利2.65%を継続

23日、ボツワナ銀行は、今年最初の金融政策会合を開催し、政策金利(MoPR)を

2.65%で現状維持することを決定した。同行は、1月の年間インフレ率は9.3%となり、対前月(12.4%)比で低下したものの、依然として中期インフレ目標の3%から6%の範囲を上回っていること、インフレ率下落の要因が燃料価格の下落という部分的な要因であること、今後も世界的な商品価格の高騰や供給制約が生じるリスクを抱えていること、他方で、インフレ要因が内需によるものではなく供給側の要因であることとし、これらを勘案し、政策金利を現状維持とした。

○燃料小売価格の改訂-昨年6月以来の値上げ

28日、ポツワナ・エネルギー規制庁は、燃料小売価格を以下のとおり値上げした。これは、コロナ禍に対する中国の隔離政策の緩和による原油需要の増加によるものである。燃料小売価格の値上げは昨年6月の改訂以来となる。新価格は3月1日から施行される。

品目	値上額（改訂後の価格）
ガソリン（オクタン価93）	95thebe（14.41 プラ）
ガソリン（オクタン価95）	92thebe（14.60 プラ）
ディーゼル	56thebe（16. 17 プラ）

※100thebe=1プラ

○2022年第4四半期雇用統計

	2022年第4四半期	2021年第4四半期
人口（15歳以上）	1,61万1,892人	1,63万7,822人
雇用人口（15歳以上）	71万7,725	71万7,418
失業率（15歳以上）	25.4% （男性:23.9%、女性:26.9%）	26.0%
若年失業率（15歳から35歳）	33.5% （男性:30.6%、女性:36.5%）	34.4%

○2022年12月国際商品貿易統計-2018年以來の黒字化へ

12月の輸入額は78億5560万プラで、前月(11月)の輸入額(改定値)71億1560万プラと比較し10.4%増加した。他方、輸出額は78億4340万プラで、前月(同)の輸入額(同)85億1430万プラと比較し7.9%減少した。2022年の貿易収支は、好調なダイヤモンド販売に支えられ、4年振りに26億2,080万プラの黒字を計上した。

(分野別内訳:上位5分野(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド(29.7)	燃料(21.1)	食料・飲料・タバコ(12.8)	化学・ゴム製品(9.6)	車両・輸送設備(9.2)
輸出	ダイヤモンド(85.0)	銅(5.7)	機械・電機機器(1.5)	車両・輸送設備(1.4)	塩・ソーダ灰(1.2)

(国別内訳:上位5か国(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南アフリカ(67.8)	カナダ(7.1)	インド(5.8)	ナミビア(5.1)	ベルギー(4.3)
輸出	U A E(36.4)	ベルギー(16.7)	インド(12.7)	香港(7.1)	イスラエル(6.2)

【国連関係】

○国連合同エイズ計画(UNAIDS)による国内における感染・治療・死亡状況の報告

UNAIDSのHIV/AIDS・プログラム実施アドバイザーによると、HIV/AIDSによる死亡率(2021年)は35歳～64歳の男性が他の年齢層に比べ高いことが明らかになった。同結果はUNAIDSが行った調査結果の暫定値で、HIV/AIDSに起因する死亡者4,445人中、52%が男性であった(2021年)。一方、同年齢層の女性の死亡率は男性よりも低く、男性よりも適切に治療を受けていることがその理由であると報じられた。

【当館関連イベント】

○円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」の署名

3日、当館村井参事官は、クワペ外務大臣との間で、150億円を限度とする円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」に関する書簡の署名・交換を行った。17日には、岡田JICA南アフリカ事務所長とセラメ財務大臣との間で円借款貸付契約の署名を行った。本借款は、COVID19の影響を受けたボツワナが脆弱層の保護やグリーン及びデジタル移行を通じ、経済の回復及び社会の安定化を図るのに貢献することを意図するもの。ボツワナ政府より、「本借款の供与に対し、日本政府への感謝とともに、本借款がボツワナの発展と繁栄に貢献することを期待する」旨述べられた。

(了)